

「出題の意図」

選抜区分	2020年度（選抜区分：一般選抜 後期日程） 外国語学部 国際関係学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><面接の意図・ねらい></p> <p>後期日程の面接は、国際関係に対する問題意識と学習意欲を受験生自身の言葉で語ってもらいながら、自分の考えを口頭で的確に表現する能力をはかるとともに、円滑なコミュニケーションを遂行する力を有しているかどうかを確認するものであった。志望動機、高校時代の経験、大学での学習計画、大学卒業後のキャリアビジョンなどに関する問いを投げかけ、受験生が過不足なく応答しているか、大学での学習に向けた準備をどのように進めているかを中心に、受験生の力を判断した。</p> <p><評価のポイント></p> <p>国際関係について関心を持ち、すでに一定の知識を有している受験生と、そうでない者との間に差があった。大学での学習に向けて、語学等の準備をしている者、海外への短期留学や外国人との交流活動等をおこなっていることを明確に示せる者と、そうでない者との違いもあった。日頃から幅広く書籍に接しているか、国内外のニュースに目配りしているかという点でも、様々であった。また、聞かれていることとは別の内容の発言をする者が散見された。意欲はあっても、表現力とコミュニケーション力に裏打ちされていなければ、それが十分には伝わらないことを感じさせる受験生もいた。</p>